

伊予里 市議会だより

第27号

平成20年
(2008年)

10月



この船で世界一周したいなあ (備名村造船所・命名引渡し式 黒川小児童)

9月補正額： 4億8,442万円
予算総額： 198億7,312万円
(対前年度同期 △6億8877万円、△3.3%)

特集

黒澤記念館

これまでの経過

★平成20年第4回定例会は12月1日(月)開会予定です。

平成20年伊万里市議会第3回定例会 会 期 日 程

9月

開議時刻 午前10時

日	種 別	内 容
2(火)	本会議	開 会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等23件 …一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
4(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案等に対する質疑
5(金)	本会議	決議案の上程(企業会計決算審査特委設置) 決議案の提案理由説明 決議案に対する質疑 決議案の討論、採決 特別委員会委員の選任 特別委員会正副委員長の互選 議案の常任委員会及び特別委員会付託
8(月)	休 会	特別委員会(交通網・港湾・企業誘致対策)
9(火)	休 会	特別委員会(地域医療整備対策)
10(水)	本会議	一般市政に対する質問
11(木)	本会議	一般市政に対する質問
12(金)	本会議	一般市政に対する質問
16(火)	休 会	常任委員会
17(水)	休 会	常任委員会
18(木)	休 会	正副委員長会
22(月)	本会議	市長提出追加議案等8件 …一括上程 市長提出追加議案等の提案理由説明 市長提出追加議案に対する質疑 決議案1件、意見書1件 …上程 決議案等に対する質疑 決議案の討論、採決 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 特別委員会中間報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉 会

議会ホットコーナー

教育委員の交代

松本昌倫さん、川崎静子さんの任期満了により、新たに平山幸彦さん、道山和美さんの任命に同意しました。

松本さんは教育委員長として、川崎さんは委員長職務代行者としての重責を果たされ、伊万里市の教育行政に大きな業績を残されました。議会としても心から感謝申し上げます。

なお道山さんは現役の保護者としては初の任命です。

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条(抜粋)
第1項 地方公共団体の長が議会の同意を得て任命する。
第4項 委員のうち保護者である者が含まれるようにしなければならない(平成19年 法改正)



定例会会期日程など

議案質疑

■ 企業活動支援センター条例

質問 かつて旧ポリテクセンター施設の活用を検討した際に、介護支援センターからの使用申し込みがあったが、団体間の話し合いで見送られた。複数の福祉団体が入居している中、福祉ゾーンとする考えはなかったのか

答弁 政策経営部長

今回対象となる施設はスレート葺きの工場棟などであり、また誘致企業の関連業者からの問い合わせもあったため、このような方向になったと理解している。

質問 オフィス棟はワンフロア全体の使用料を20万9080円としているが、借り手が無かった場合に、半分貸す等の考えはないのか。

答弁 産業部長

コールセンターを想定しており、顧客情報の管理等のためには厳しいチェックが必要。出入り口が1ヶ所であるため複数の企業の使用は想定していない。将来的に必要なになれば、その時点で対応策をとる。

意見書

「安心実現のための緊急総合対策」の速やかな実現拡充を求める意見書

昨今の原油価格は高い水準で推移している。このことが石油に依存する度合いが高い農、漁業や運輸業さらに中小企業などの収益の悪化や原材料の上昇に伴う食料品及び日常生活品などの値上げにつながる住民の家計に大きな影響を与えている。そのため国における安心、安全な対策を早急に講じられるよう求めるものである。

黒澤記念館 これまでの経過

「黒澤明記念館が伊万里(ファミリーパークの一角)に…」との話が持ち上がってから、10年になります。この間、一般質問でも何度も取り上げられ途中経過が説明されてきましたが、今回ひとつの区切りとして、その経過を議会への配布資料や新聞記事から振り返ってみたいと思います。

年 月	事 項
平成10(1998)年 3月	川本市長、ファミリーパーク建設先送り宣言
5月	市長上京の折、黒澤明記念館建設計画の話を知り、伊万里市への視察を依頼
6月	市、「記念館建設に関する要望書」を黒澤氏へ提出 黒澤久雄氏らファミリーパーク建設予定地を視察
7月	(株)環境アート研究所設立 代表取締役・宮本英五郎、顧問・黒澤久雄
8月	市長、総務部長が環境アート設立懇談会に出席。黒澤久雄氏らと面談、協議
9月	4日 市長が議会全員協議会で計画を説明 6日 黒澤明氏 逝去(合意書調印式 延期) 13日 市長「黒澤監督お別れの会」参列。関係者と協議 14日 市長が議会全員協議会で合意書・契約書に関し計画を説明 17日 補正予算(無体財産権取得のための権利金1億5百万円)提案 13人の議員が質疑 21日 市議会総務委員会審査(市長出席)の結果、継続審査となる 22日 合意書調印 ※① 25日 市議会本会議 全会一致で継続審査となる
10月	環境アート研究所 基本計画1期計画の提案 ※② 9日 総務委員会審査 賛成・反対同数のため委員長裁決により可決 19日 臨時市議会 賛成多数で補正予算可決 22日「記念館を伊万里市に設立する権利や、記念館に展示する監督ゆかりの資料の提供を受ける権利等」について定めた契約書調印
12月	市民センターにて「黒澤久雄と伊万里びとの集い」開催(主催:伊万里の会 参加者 約450人)
平成11(1999)年 3月	県 財団法人黒澤明文化振興財団設立許可、市長 ファミリーパーク計画凍結解除表明
4月	市・財団「黒澤明記念館の設立等に関する権利(3権利 ※③)」の使用貸借契約締結
7月	サテライトスタジオ オープン
9月	第1回伊万里黒澤映画祭(以降、毎年開催)
平成12(2000)年 12月	記念館基本設計造成設計契約
平成13(2001)年 4月	「黒澤明記念館を設立する権利」使用貸借契約の追加
6月	理事会 基本計画の承認 ※④
10月	建設資金(一口1万円)の寄附募集開始、HP開設
平成14(2002)年 2~10月	記念館敷地造成工事
9月	塚部市長と黒澤理事長との会談
平成15(2003)年 1月	財団記者発表 建設計画の見直し ※⑤
11月	財団記者発表 記念館見直し ※⑥
平成18(2006)年 4月	ファミリーパーク(夢みさき公園)一部開園
平成20(2008)年 6月	一般質問答弁:「財団は、黒澤監督の生誕百年にあたる2010年に記念事業を大手企業数社と計画している。そこが建設実現のタイムリミットと考える。市として財団に早急な事業概要などの説明を求めていく」 →9月中旬に常任理事の来伊が予定されていたが、急病のため延期された

※①: 記念館の建設候補地として伊万里市を選定し、諸条件が整ったときは記念館建設地として決定する

※②: 財団の設立、記念館総事業費15億円、年間来場数15万人、開館時期 平成13年度、用地は当分の間、無償貸与

※③: 黒澤明の名前を使用する権利、記念館に展示する監督ゆかりの資料の提供を受ける権利、黒澤明のデザインや名前を使用したグッズを販売する権利

※④: 総事業費15億円、平成14(2002)年度の開館を目指す

※⑤: 展示室など一期分開館費用9億5千万、平成17(2005)年度の開館を目指す。シアター建設は2期工事へ

※⑥: 全体事業費についての発表なし。映画芸術の複合文化施設(映画人養成の学校や映画館併設)化構想

★黒澤関係 これまでの支出 約3億3,200万円

《内訳》権利取得金 1億5百万円、用地取得・造成費 8,436万円、財団出捐金 1千万円、サテライトスタジオ整備補助金 5千万円、同維持管理費 8,248万円

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

委員会に付託された条例議案4件、補正予算議案1件について慎重審査の結果原案のとおり可決すべきものと決定しました。伊万里市認可地縁団体印鑑の登録、及び証明に関する条例の一部を改正する条例については、地方自治法の改正に伴い改正する必要性が生じたため。

伊万里市特別職報酬等審議会条例等の一部を改正する条例制定については、地方自治法の改正に伴い、改正する必要があるため。

伊万里市手数料条例の一部を改正する条例については、戸籍法及び住民基本台帳法の改正に伴い、改正する必要があるためそれぞれ慎重審議をしたところである。

議案76号については、非営利団体(特に自治区)の法人組織化を広く、呼びかけ、権利が個人から団体へ移行する事によって、法的

な整理が確立されることを確認した。

議案79号では、税条例の一部改正が行われ、その中で①地方公共団体に対する寄附金制度の見直しを行う。(控除方式が所得控除から税額控除に改める。H21年度から適用)②公的年金からの特別徴収制度の導入(受給者の便宜や市町村における徴収の効率化を図る目的で、また、老齢基礎年金18万未満の方は対象から除外。H21年度から適用)等について説明を受けた。

②では本人の同意が必要であるとの意見があったところであるが、税条例の改正を認めたところである。



新しく刷り上がったパンフレット

行政視察(7月9日(水)~11日(金)) 報告

(1)新潟県新発田市(行政評価、まちづくり条例について)

新発田市は、新潟市に隣接し面積は約伊万里市の2倍、人口約105,000人の都市である。H12年度から「市民満足」「安定経営」の実現を目指し、住民の目線に立ち、行政の仕事は健全なまちづくりに結びついたのか。単なる判断基準をもとに優劣を決めて終わりではなく次の企画(計画、予算等)や実施に反映させるため、施策、事務事業の目的、内容を点検する行政評価システムについて説明を受けた。中でも評価の結果を次年度の予算編成に生かす為に施策別予算枠配分方式を採用したり、毎年の市民意識アンケート調査、市民による外部評価委員会の設置など、先進的取り組みを伺い、意見交換ができた。

(2)新潟県佐渡市(定住促進事業等)

当市の面積は伊万里市の約3.5倍。周囲280km、人口7万人弱の日本第2の島である。

高齢化・島外流出が深刻で、増加傾向にある空き家を有効活用し、地域の活性化を図る目的で、H14年度から空き家対策事業を展開されている。中でも「空き家情報システム制

度」は所有者と利用希望者の連絡・調整・利用上での条件等の交渉など、市が積極的に関与し、市ホームページの中で詳しい情報が提供されていた。これまでの空き家見学63件、19戸の入居実績、又、定住された方々の交流の様子、現地視察の補助(2万円上限)入居時でのクリーニングサービス等についても説明があり、伊万里市の取り組み等も紹介するなど意見交換ができた。



新発田市役所

◎笠原 義久 ○樋渡 雅純
前田 教一 多久島 繁 松永 孝三
船津 賢次 前田 久年 下平 美代

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会、市民病院

当委員会に付託された一般会計補正予算および3特別会計補正予算について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。主な審査内容は次のとおりです。

幼児教育、子育て支援に関わる指導員研修会開催 3万4千円

- ・保育士等の技能向上を図る。対象者は40施設、約500人。先行して7月に行った研修会での反省点を踏まえ、10月に臨床心理士を招いての研修と、1月に整肢学園から講師を招いての研修を予定。

認可外保育所への助成 36万6千円

- ・市内に6ヶ所ある認可外保育所に対し県と市が助成。補正は勤務する職員の健康診断費助成の単価改定と、児童傷害保険加入補助と施設の安全対策としてフェンスや門扉等を整備する補助金を新設する（県・市1/2ずつ負担）。
- ・安全対策補助金は1園分計上。希望する園は他にもあり、予算の関係で1園ずつ実施。

次世代育成支援行動計画策定 250万円

- ・平成17年度に策定した計画の見直しを2年間かけて行い、今後5年間の後期行動計画を策定する。補正は現計画の進捗状況分析のためのアンケート調査費用。
- 現計画を踏まえた計画となるよう、前回委員として参画された方に可能な限り継続してお願いする旨の要望があった。

環境センター補修工事 3,562万9千円

- ・施設は設置後26年を経過し機能低下が生じているが、平成27年度に予定している新施設稼動まで現施設の延命化のために実施する。
- ・今回の工事内容（全て2号炉）：ごみ投入ホッパー補修、通風施設余熱管補修、排ガス処理施設電気集塵機補修、焼却設備補修など

「スポーツゲームズ」開催 9万5千円

- ・小中学生を対象にバレーボール・陸上・サッカーのトップアスリートと一緒に競技を楽しむイベントを開催。国見台運動公園にて12月20日の予定。NPO法人MIPの主催

大坪留守家庭児童クラブ増設 1,264万円

- ・国は平成22年度から、児童の情緒安定等のために71名を超える大規模クラブへは運営補助金を交付しない方針で、市内では大坪・伊万里・立花クラブが該当。そのうち、現在127人で今後もほぼ同じ状況で推移が予想される大坪クラブに第2クラブを増設。県の補助枠に空きがあったため、前倒して実施する（国・県からの補助2/3）。建設予定地を現地調査した。
- ・伊万里クラブは現施設の活用、立花クラブは以前使用していたミーティングルームの活用で対応予定。
- ・未設置3校のうち、山代西小は来年度からの開設を目指し学校と協議中。大川小は児童センターでの別事業、滝野小はアンケートの結果、留守家庭なし。
- 大川内クラブと牧島クラブへの空調整備の要望があった。



第2大坪クラブ予定地（現クラブに隣接）

- 岩橋 紀行 ○山崎 秀明
- 占野 秀男 高木 久彦 島田 布弘
- 田中 啓三 福田 喜一 盛 泰子

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

今議会、当委員会に付託された条例議案4件、規約の変更・専決処分の承認、各1件一般会計をはじめとする補正予算3件について慎重審議の結果、原案のとうり可決すべきものと決定した。

議案75条・伊万里市企業活動支援センター条例については議案質疑においても複数の議員からも質問があった経緯もあり当委員会でも時間をかけ審議した。

主な審議内容としては①公害防止について具体的な数値を設けた方が良いのではないか②施設を貸与する為に投資はいくら必要か③借用の契約期間について等を審議した。

行政視察(7月1日(火)～4日(金))報告

7月1日(火)～7月4日(金)の3泊4日で、大阪中央卸市場南港市場、京都府南丹市日吉ダム、兵庫県たつの市ささ宮農、三ヶ所の視察研修を行った。

・「南港市場と佐賀牛伊万里産」について

J A伊万里、肥育農家の協力で当委員会の視察に合わせて黒毛和牛の出荷をしていただきつぶさにセリを見学することができた。

肉の品質を向上させる為の普段の努力、基幹出荷等で市場からの信用度も高い。畜産農家は①飼料の値上がり②素牛の高値③消費の低迷等で厳しい経営をされているのが現状である。責任者の話では今、伊万里産は増体で走っている様に思われる。今後の課題としては色々あるがまずは「原点回帰」と力強く結ばれた。

・「日吉ダムの活用」について

本ダムは桂川、淀川上流域の治水はもとより利水の必要性に対処する為、水資源開発公団が昭和57年度から1,857億円の巨費を投じ建設事業に取り組み平成8年完成、10年4月より供用開始、平成5年4月事業半ばで「地域に開かれたダム」の指定を受け天然温泉、プール体育館、地元特産品販売コーナー等を備えたりラクゼーションスポット施設である。

議案82号・伊万里市営住宅条例の一部を改正する条例制定について。

本条例改定は市営住宅から暴力団員の排除、同住宅敷地内駐車場の管理に関するものであり委員会においても暴力団員の定義とその対応策、駐車場使用料の実態、管理組合の管理範囲などについて審議をした。

一般会計補正予算の商工費のうち、「工業団地開発適地調査事業」についても時間をかけて審議をした。本事業は新たな工業団地開発に向けた適地調査を行い更なる企業誘致の推進を図る為の適地調査委託料であり①これまでの検討経緯②地元の要望へはどう対応するのか③先に制定された企業立地促進法に基づく工業団地適地とのからみはどうか等活発な審議をした。

只、維持管理、運営に毎年多額の費用がかかっている様である。

・「ささ宮農、集落営農の法人化」について

笹野地区は揖保川の東岸、中国道、山陽道の間位置する水田農業地帯で一戸あたりの平均耕作面積は30アールと少なく、農業従事者の高齢化、後継者不足等が深刻な問題となっていた。数多くの会議、会合を重ねながら平成14年4月に2集落1農場方式を目指す営農組合を設立し集落営農を行ってきた。平成18年11月に組合から株式会社に移行、担い手経営革新促進事業、環境創造型農業推進事業等に取り組み、主な栽培品目は水稲、小麦、黒大豆等である。20年度の作付面積は延べ50ヘクタールを予定している。



南港市場でのセリ風景

◎前田儀三郎
松尾 雅宏
堀 良夫

○渡邊 英洋
松尾 博幸
内山 泰宏
草野 譲
浜野 義則

交通網、港湾、企業誘致対策調査特別委員会

1.西九州自動車道建設について

唐津伊万里道路18.1kmの伊万里市側については、南波多町大曲から原屋敷間の用地取得率は19年度末で83.8%の進捗状況にある。この区間の20年度予算として40億円の事業予算を見込んでいる。

伊万里道路については、昨年度より一部を除いた所の路線測量業務が実施されている。今年度に30箇所程度の地質調査と設計業務を予定されている。尚、この区間6.6kmの20年度事業予算として1億円を計上されている。

伊万里松浦道路については、区間が17.2kmあり、20年度事業予算として8億5千万円が計上されている。山代ICから長崎県境間の用地取得交渉も鋭意進められており、19年度末で52.7%の進捗状況にある。今年度は本工事発注を予定され、引き続き用地買収にも力を入れていく方針である。

2.港湾の整備について

七ツ島工業団地の多目的国際コンテナターミナル整備については、水深-13m岸壁2バースの整備をH22年度完了を予定され、今年

度はケーソン7函の据え付けが計画されている。又久原北地区航路の水深-10m浚渫も引き続き行われており、港湾機能の強化が図られている。

3.企業誘致について

本年4月から8月までに、企業訪問等による立地勧奨は延べ16社、立地企業に対するフォローアップは延べ66社への訪問が行われている。新規の進出企業として(株)SUMCOの関連企業である、日の本研磨材(株)が伊万里団地へ進出する事が決定し、来年3月に操業開始予定である。この事により伊万里団地の未分譲用地は一区画を残すのみとなり、新たな工業団地開発に向けた適地調査を模索されている。



南波多町内高瀬橋付近工事状況
(西九州自動車道)

行政視察(8月19日(火)~21日(木))報告

(1) 鹿児島県志布志市

志布志港は、九州で唯一の中核国際港湾に位置づけられ、大規模な穀物貯蔵施設等への物流拠点港として大きく寄付している。H9年に貨物取扱量の増大等に対応するため新若浜地区に新たな多目的国際ターミナルの整備が進められている。95haの広大な海を埋め立て-14mバースを整備しガントリークレーン2基設置、12万TEUの蔵置能力の施設で来年春には一部供用開始する予定である。

(2) 鹿児島県出水市

高速交通網の整備と企業立促進プロジェクトについて説明を受けた。南九州西回り自動車道の建設では、西九州自動車道と同じ位置づけの高規格幹線道路であり、伊万里市域内と同様に出水市域内においても無料方式が採用されている。

企業立地促進プロジェクトについては、H23年度の九州新幹線全線開通により大阪まで直通となる利便性を強みに、ふるさと大使の活用を積極的に図り、企業誘致のみならず地場産業の販路拡大にも取り組むとされている。



志布志港新若浜地区多目的国際ターミナル

◎草野 讓 ○樋渡 雅純 松尾 雅宏
渡邊 英洋 高木 久彦 島田 布弘
福田 喜一

地域医療整備対策調査特別委員会

1. 新病院建設における進捗状況等について

用地交渉やインフラ整備に係る協議等、事務処理がなされている。基本計画等策定委員会にて基本計画案が取りまとめられ、新たに任意設置された公的病院統合推進協議会に示されるとともに、市執行部より市民病院職員・区長会長への説明会等なされている。病院用地交渉対象となる地権者12名中5名から代替地の要望が出され、地区内を中心に調査が行われているところである。本年12月中旬までに用地の契約を完了し、来年1月から造成工事に着手する見込みとなっている。病院建物については、公的病院統合整備事業設計プロポーザル審査委員会が開催され、10月には基本設計業務を委託する業者を決定する見込みとなっている。

医療と脳卒中の診断・治療について機能強化を図り、入院患者の診療に重点を置くと共に、紹介、逆紹介を積極的に推進するなど医療連携を強化するといった内容が掲げられている。平成23年4月の開院を目指して、医師確保という最大の問題をはじめ、公的病院の使命と安定経営の両立など、クリアしていかなければならない課題は多い。経営形態については、地方公益企業法の全部適用や将来的な地方独立行政法人化も視野に入れた慎重な検討が早い段階で必要と言える。本委員会としても先進地視察や議論を重ね、一定の見解を持ちたいと考えているので、執行部におかれても、十分な議論を尽くしていただきたい考えである。なお、協議等の状況については、今後とも当委員会への速やかな報告を要望していきたい。

2. 新病院建設に向けて

基本計画案によると15診療科、病床規模228床とし、小児救急医療の充実や循環器系

◎堀 良夫 ○多久島 繁 占野 秀男
山崎 秀明 笠原 義久 前田儀三郎
下平 美代

議会運営委員会

本年5月に実施した視察研修の成果をもとに、引き続き、議会運営・議会改革に関する検討をしています。

会派について

伊万里市議会は歴史的に会派を持たなかったようですが、その理由は不明であり、これまでに何回か議運の検討課題としても挙がっていました。しかし明確な結論に達したこと

はなく現在に至っています。

今回、委員からの要請があり、会派導入についてメリット・デメリットを含めた議論を行っています。

◎盛 泰子 ○前田 久年 松永 孝三
松尾 博幸 船津 賢次 内山 泰宏
岩橋 紀行 田中 啓三 浜野 義則

一 般 質 問 (質問順)

議員名	質問事項	議員名	質問事項
内山 泰宏 (一問一答)	1. 個人情報保護法が施行された。これにより市民が過剰反応を起こし地域が萎縮していると言われている。このような中、地域の町づくりができるのか。 2. 伊万里焼会館が閉館した。それにとりもなう伊万里市の観光影響の実態と対策。	岩橋 紀行 (一問一答)	1. 北部第二土地区画整理事業(仮称)について (1) 松島掬の現状からして当地区の排水対策は (2) 県道黒川松島線バイパスの進捗は (3) 街路大坪木須線の進捗は (4) 区画整理事業の可能性は 2. 七ツ島工業団地内のレシード油施設について (1) 原因者(神廣)の現状は (2) 佐賀県による行政代執行の時期は (3) 執行後の策は
樋渡 雅純 (一問一答)	1. 携帯電話のリサイクルの推進 (1) リサイクル資源の分別と収集の現状 (2) レアメタルの回収促進に対する市の考え (3) 周知方法 2. 高齢者の難聴への対応 (1) 健診でのチェックリストの充実と聴力検診の実施を (2) 補聴器に関するアドバイス体制を (3) 「耳マーク」の設置 3. 公有財産の貸付けについて (1) 自動販売機設置の現状と収入 (2) 収入増の方策とルール作り	船津 賢次 (一問一答)	1. 平成21年度からの第4期介護保険事業の策定について (1) 保険料について、低所得者に配慮したものになるのか 2. 統合病院への交通アクセスについて
笠原 義久 (一問一答)	1. 固定資産税の課税評価基準と伊万里市の現況について 2. 市内小中学生の進路と教育環境について 3. 住みよい、住みたい町伊万里市とは	盛 泰子 (一問一答)	1. 予算編成における枠配分について (1) 導入以降の問題点 (2) 来年度へ向けて 2. 公益通報者保護制度について (1) 導入の状況 (2) より良い制度とするために ① 第三者機関の設置 ② 職員以外からの通報受付 3. 学校図書館について (1) 学校図書館事務の状況 ① 職務内容 ② 実務研修 (2) 学校図書館支援センター事業 ① この3年間の成果 ② 今後の課題 (3) 第2次「子どもの読書活動推進計画」策定 4. 就学前の発達障がい児への支援について (1) 市内幼稚園・保育園の状況 (2) 発達障がい者支援法第3条第2項をどう具体化するか
堀 良夫 (一問一答)	1. 伊万里市地域防災計画について (1) 自主防災組織(地区防災会)の役割 (2) 災害時、要援護者組織の充実並びに全域網羅の名簿作成を 2. 市内各種公園の維持管理について (1) 遊具の安全対策を含めた管理状況 (2) 公園管理事務の一元化について 3. 市職員の健康管理について (1) 伊万里市衛生委員会の活動について (2) 伊万里市第4次行政改革大綱、推進計画、第2次伊万里市財政健全化計画による職員定数の抑制について	渡邊 英洋 (一問一答)	1. 環境センターについて 2. 農業振興策について 3. 観光対策について
松永 孝三 (一問一答)	1. 社会保険浦之崎病院の存続に向けて 2. 有害鳥獣対策について 3. 教育現場における安全管理について		
松尾 雅宏 (一問一答)	1. 一般県道黒川松島線バイパス供用開始に伴う安全対策及び未着手区間の計画について 2. 原油高騰に対応する緊急総合対策への取り組みについて 3. 09年度概算要求にある自給率向上対策への対応について		

一般質問

個人情報保護の
認識について

内山 泰宏

質問 この制度は平成17年度から全面運用され、市民にも広報されている。施行前までは名簿など簡単に情報を得ていたものが施行によって情報を得ることが困難になったことで、過剰に情報を差し控えているのではないかとの思い違い、戸惑いなど、地域の運営に支障が出ていると思える。今後、市民にどのようなように正しい認識をさせていくのか。

答弁 総務部長

今までは伊万里市が持っている個人情報保護について広報してきた。一方、市民の方が必要な時には個人情報を提供していただくような広報が足りなかった。今後、このような点を力を入れて広報していきたい。

観光振興には
何が必要か**質問**

伊万里焼会館が閉館した。ここを利用した観光ルートが確立された部分がある。伊万里の観光は今後どうなるのか心配している。そのため伊万里市、観光協会、旅行業などがひとつの目標に向かって観光振興を進めるために伊万里市観光振興基本計画などが必要と考えられるが。

答弁 市長

観光形態が団体旅行から小旅行などに変化している。そのような中、観光戦略の見直しが必要となってきた。事例として行政と観光協会などが合体してコーディネートしていくことも必要である。観光振興を進めていくためには市民の皆様の協力も必要であり、全体的な推進のため伊万里市観光振興基本計画などを策定したい。

携帯電話のり
サイクル

樋渡 雅純

質問 パソコン・携帯電話等の中に含まれるレアメタルなど、資源としての面からも注目されているが、その回収が660万台と半減している。行政としても啓発、周知を含め回収に積極的に協力すべきでは。

答弁 市民部長

市も積極的に推進すべきと考えているが、市民にリサイクルの必要性を広く知ってもらう為に、分別チラシへの記載、HP・廃棄先を具体的に明示するなど、周知方法に力を入れたい。

高齢者の難聴対策

質問

65才以上の人の3割は難聴であるとも言われている。放置すると増加が予想され周囲との意思疎通、

住みよい、住みたい
町 伊万里市とは

笠原 義久

質問 住みよい町を目指す中で、平均寿命が県内ワーストワンという現実をどのようにとらえているか。

答弁 市民部長

悪いと言っても上位から下位までの差は一年にも満たない。又市内の平均寿命は徐々にではあるが延びている。

答弁 市民部長

①把握は困難だが、H19年市の調査では1609人の方が聞こえにくいと答えている。脳への老化が進みやすいと考えられる。②どのような質問項目、内容が望ましいか検討したい。高齢者の相互相談等で実態の把握に努めていく。③安心して窓口に来てもらえる、安心の度合いを高める意味でも設置していく。

公的財産の貸し付け(省略)

答弁 産業部長

市民の所得を引き上げることは必要である。全体の底上げに努力しなければならぬが特に給与所得層については、誘致企業、地場企業の業績好転によるところが大きく行政の最大の協

力は惜しまない。

固定資産税の課税評価について

質問 市民の間では重税感と適正な課税がなされているのかとの多くの声があるが。

答弁 総務部長

国の基準と専門家による適正なる判断がなされて、三年毎の見直しも随時行われている。

小中学生の進路について

質問 少子化、学級数の減少の中、多くの生徒が他地区へ流出しているが。

答弁 教育長

流出しているのは事実である。

質問 伊万里市に中高一貫校を建設する考えはないか。

答弁 教育長

13年度に建設の運動を興したが、武雄市に開設されたからには、今しばらく今後の動向を見守りたい。

伊万里市地域防災計画

堀 良夫

質問

①地区防災会の役割、市からの支援、連携体制の充実を図るべき②全域網羅の要援助者名簿作成、初期活動の支援体制づくりは。

答弁 総務部長

①市内全域で地区防災会が組織され、地域における「共助」の部分を担当する存在であり、情報伝達訓練や研修会等を通して地区防災会の自主的な活動が充実するよう支援を行っている。②災害は人命や財産に直接関わることであり、名簿作成の意義等に理解を得て、一人でも多くの災害時の要援助者の把握に努める。本年度中に災害時要援助者避難支援の全体計画を策定し、非常時に地区防災会の活動が円滑に運ぶよう努める。

市内各種公園の安全管理

質問 遊具の安全対策を含めた管理状況は。

答弁 建設部長

本年4月より都市開発課に公園係を新設し、市内49公園の管理窓口を一元化。総合的に巡回し国のガイドラインに沿って安全点検を実施。

職員の健康管理

質問 行政改革による職員数の抑制や国の制度改革等による事務量の増加で職員の負担が増し、長期休暇が増えているのではないかと対策は。

答弁 ①総務部長・②市長

①9月1日現在、メンタル疾患を含めた長期療養者は23名。主治医・精神科医・産業医と連携して過重労働対策に取り組んでいる。②職員は大切な人的資源であり、職務遂行のためには健康であることが前提。これまで以上に職員の健康管理に努めていく。

社会保険浦之崎病院の存続に向けて

松永 孝三

質問 社会保険浦之崎病院の存続についてどのように考え今後、存続に向けてどのような取り組みをするのか。

答弁 市民部長

地域住民が安全・安心で暮らして行くためのセーフティネットとして重要な医療機関として認識し、国の関係機関に対し市長・市議会議員・区長会連合会長が要望書を提出し、独立行政法人に出資されることが決定。

国は地域医療の確保を図り、安定的な経営をできる譲渡先を検討し、廃止することはしないとの考え。

有害鳥獣対策

質問 有害鳥獣による被害状況と対策について、今後の課題・取り組みについて。

答弁 市民部長

本市でも、野生生物が住宅地に出現し、猿・アライグマが市内で捕獲され、具体的な被害は把握できていない。対策としては、住宅地での電気柵や箱わななどによる駆除については、子供や高齢者、ペットに対する危険が高いなど難しいことから、今後どのような方法があるのか研究して、関係機関との連携をして対策を協議していきたい。

教育現場の安全対策

質問 教育現場における安全対策について。

答弁 教育部長

全小中学校の全ての教室に非常ベルの設置や、危機管理マニュアルを作成し、学校・家庭・地域全体で協力をし安全確保にご協力をいただいている。携帯電話やネットによるいじめ問題やネット環境の安全対策にも努めていきたい。

一般質問

黒川、松島線バイパスの安全対策

松尾 雅宏

質問 来年3月に供用開始と聞くが啓成中学下の交差点に信号はつくのか、また牧島小学校前は速度制限と横断歩道が必要と思うが。

答弁 総務副部長

大型トラックを始め多くの車両が通ることとなり、土木事務所、警察とも開通に合わせ検討がなされている。

質問 未着手区間の計画は

答弁 建設部長

この道路の残りに地すべり区間があり、新しいルート決定を県に要望している。

緊急総合対策

質問 原油高騰や景気低迷を盛り込んだ国の「安心実現のための緊急総合対策」について市の取り組みは。

答弁 産業部長

現在国会が分らない状況ではあるが、市としても情報収集を早急に行い

A、関係機関と連携を図り取り組んでいく。

答弁 市長

農業が今厳しい状況に置かれているのは当然認識しており、足腰の強い持続的な農業を目指し、県にも働きかけ市としても出来るだけの支援はしていきたい。

自給率向上対策

質問 09年度概算要求に一連の穀物不足を受けて国は「米粉・飼料米」の新規需要を新たに事業化しそ

答弁 産業部長

新聞紙上の限られた情報ではあるが水田の機能を維持し、食料自給率を向上させる上で必要なので市水田協議会で充分検討する。

質問 対策には米消費拡大

答弁 教育部長

米飯給食で材料費を軽減することが出来るが、一方で人件費が増加するので年内、関係組織と検討する。一回で20トン増える。

北部第二土地区画整理事業仮称について

岩橋 紀行

質問 平成14年度の松島搦地区開発可能性調査後の検討結果は。

答弁 建設部長

調査の結果は減歩率47%で公共による区画整備については困難である。

質問 結果について地権者

答弁 建設部長

へは報告、助言したのか。何回となく話し合っている。

質問 現状からして当地区

答弁 建設部長

の排水対策は。区画整理をしなければ、自然排水、強制ポンプ排水等も考慮し、下水道事業による雨水渠整備で取り組む。

質問 県道黒川松島線バイ

答弁 建設部長

パスの進捗は予定通りか。

答弁 建設部長

今年度末(21年3月)に供用開始の予定。

質問 街路大坪木須線の整備

答弁 建設部長

計画については、交通解析の予算も提案されているが。

答弁 建設部長

西九州自動車道のインター計画など周辺状況の変化も生じ、交通解析を行い、都市計画の検討をして、平成23年度から取り組む計画である。

質問 地区の事情(低平地

答弁 建設部長

で冠水常襲地帯)からして、区画整備事業が困難となれば、まず排水対策を急ぐべきと思うが。

答弁 建設部長

県とも相談しながら早急に対策を講じたい。

質問 街路大坪木須線の整備

答弁 建設部長

計画については、交通解析の予算も提案されているが。

答弁 建設部長

西九州自動車道のインター計画など周辺状況の変化も生じ、交通解析を行い、都市計画の検討をして、平成23年度から取り組む計画である。

介護保険料―独自の減免制度を

船津 賢次

質問 前回の質問(昨年6月議会)で介護保険料の低所得者対策の必要性を述べ、減免制度の実現を求めた私の質問に、市長は答弁で「平成20年度からの第4期介護保険事業計画策定のなかで議論をしたい」と答弁された。今、その第4期介護保険事業の策定作業が始まっている。「市長が決断」すべき時ではないか。また、減免制度の必要性について次の6点を指摘しました。

①低所得者にとって重い負担となっている(共産党がおこなったアンケート結果)

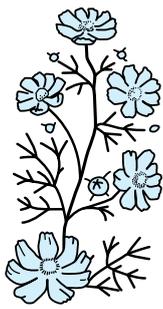
②生活保護基準との比較

③国民年金の平均支給額

月額3万9600円(受給者数6271人)(厚生

年金・共済年金受給者の老

齢基礎年金は含まない)



(全日本年金者組合佐賀県本部調べ)
 ④国保税との比較
 所得により、国保税は1万7400円から56万円迄で32倍の開きがあるが、介護保険料は2万9400円から8万8200円で3倍の開きしかない。
 ⑤軽減策が十分でないとなし、通報窓口にも対象とし、第三者機関も加えるべき②
 ⑥全国1679保険者のうち、555保険者が独自の減免制度を実施している。

答弁 市長

12月下旬に開かれる策定委員会で介護保険料について、議論されることになっているので、私の方からも生活困窮者に対する減免について議論されるよう申し入れたい。

統合病院への交通アクセスについて(省略)

公益通報者保護制度

盛 泰子

質問 ①法令違反行為があった場合に内部通報者を保護する制度。導入状況は。市民からの通報も対象とし、通報窓口にも対象とし、第三者機関も加えるべき②
 第三者機関の県内共同設置を提案しては。

答弁 ①総務部長・②市長

①今年度から導入。総務課を通報窓口としている。職員以外からの通報も想定しているが、「伊万里つ子ポスト」もあり積極的な広報はしていない。②その必要があれば、市長会で提案することに異議はない。

学校図書館の充実

質問 ①全校配置の学校図書館事務に年度当初の顔合わせ的な研修機会を。②文科省事業協力校5校では大

きな成果がある。来年度以降、全小中学校へどう広めるか。

答弁 教育部長

①来年度から採用当初に研修機会を持ちたい。②事業の継続は難しいが、市民図書館に学校図書館担当を設け、学校図書館教育研究会と連携して、この成果を共有していきたい

就学前の発達障害児支援

質問 乳幼児健診時での早期発見、小中学校でのサポート事業により支援体制にあるが、その間の支援が手薄い。

答弁 ①市民部長・②市長

①県事業「わくわくキッズ」が伊万里でも実施できるよう努力する。②県内市長会からの要望事項にも挙げていく。県立発達障害者支援センターは鳥栖の1ヶ所設置のみであり県西北部への設置と、就学前の発達障害児支援についてさらに知事に強く要請していく。

(1問省略)

環境センターについて

渡邊 英洋

質問 4市5町による西部ブロックごみ処理広域化計画が進められているが、建設される施設の概要を取りまとめた施設整備基本計画は、いつ策定されるのか。又、新施設へ移行後の現施設はどうされるのか。

答弁 市民部長

同施設の建設候補地は松浦町、松浦バイパス南側の林野50ヘクタールに決定。本年度中を目処に処理対象物や施設規模などの基本計画をまとめ、建設に必要な約8ヘクタールを絞り込む。管理運営方式などについては来年度から検討に入る予定で基本計画策定は、2011年度までには完了したい。新施設移行後の現施設については新施設の計画に併せて逐次検討して行きたいと考えている。

中山間地域等直接支払い制度について

質問 本制度は平成12年度から16年度までを1次、17年度から21年度までの5年間を2次として現在取組んでいるが、市としてどう評価しているか。又、22年度からの3次も是非継続してもらいたい。市の考えをお尋ねしたい。

答弁 市長、産業部長

2次目の中間にあたる平成19年度に中間年評価アンケートを実施した。耕作放棄地の防止、農道・水路の維持管理、集落の活性化などに非常に効果を上げていると評価している。3次への継続についても本制度を取組んでいる集落からの強い要望もあり国の動向を注視しながら、本制度の有効性を訴えあらゆる機会をとらえて農林水産省をはじめとする関係機関に対し、本制度継続を強く要望して行きたい。

(紙面の都合で一問削除)

行政視察受け入れの状況（平成20年4月～9月）

月	来訪議会名	人数	視察項目	
4	熊本県合志市議会	8	市民図書館の建設、運営	委
5	京都府舞鶴市議会	8	公的病院の統合	委
	鹿児島県阿久根市議会	7	議会運営、議会改革	委
	福井県敦賀市議会	7	伊万里港の貿易状況	委
6	青森県十和田市議会	7	グリーンツーリズム事業	会
7	佐賀県小城市議会	12	議員定数削減	委
	石川県白山市議会	11	提案型公共サービス民営化制度	委
	兵庫県猪名川町議会	4	まちづくり基本条例、市民交流プラザ	会
	岡山県議会	1	大川内山世界遺産への取り組み	個
	兵庫県小野市議会	7	NPO法人伊万里はちがめプラン	委
	和歌山県美浜町議会	8	南波多小中学校の小中連携教育	委
	福岡県うきは市議会	8	市民図書館の運営、友の会の活動	委
8	長野県大町市議会	9	NPO法人はちがめプラン	委
	熊本県八代市議会	9	伊万里港の整備	会
	熊本県山鹿市議会	14	議会運営、議会改革、市民図書館	委
	東京都北区議会	7	伊万里黒澤映画祭、サテライトスタジオ	会

※ 人数は議員の他、随行者も含みます

※ 「委」は委員会、「会」は会派、「個」は個人での視察を意味します

※ 多くの場合、伊万里市内に宿泊されています。伊万里市議会も出来るだけ視察先の自治体に宿泊するように努めています

※ 9月は議会中であり、視察申し込みはありませんでした

訂正のお知らせ

議会だより26号に間違いがありました。心からお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。

記

11ページ 3段目

教育部長答弁

喘息 1,409人
⇒ 409人
食物アレルギー 192人
⇒ 92人



議員研修会開催
8月8日、午後2時半より鳥栖市中央公民館において、県内各市より約300人の議員が参加しての研修会が行われました。
今回、講師に吹浦忠正氏（ユーラシア21研究所理事長）を招き、混迷する政局の分析をふまえながら、「永田町の常識、世間の常識」のテーマで話を伺うことができました。

編集後記

議員に支給される政務調査費の用途について、昨今盛んに疑問視されていますが、私たちに年間25万円を限度として交付されています。これは議員の知識向上や資質を高めるための研修会参加などの調査研究や、議員活動に必須の図書・資料等の購入費、或いは議会活動の広報などに充てる費用に限定して交付されるものです。

通常、議員が市政に対する考え方や、意見を表す機会には、予算に対する質疑や、市政に対する一般質問ですが、これは執行部の政策に対する「正し方」と一部の考慮、提案となりますが、これからは議員自らが政策の立案、提案の力量も必要だと考えるもので、正しく活用しなければなりません。少なくとも本市議員に限って言えば、1円以上からの領収書を添付することになっており、情報公開による皆さんの目を通すこととなりますので、注視して頂きたいと感じます。（山）

◎樋渡雅純 ○山崎秀明 多久島繁
前田久年 渡邊英洋
顧問 占野秀男、盛泰子

発行 伊万里市議会

伊万里市立花町一三五五一

☎0955-23-2111

☎0955-22-1277

E-mail: gika@city.imari.jp

編集 市議会だより編集委員会

印刷 山口印刷株式会社